

令和6年度 児童手当・特例給付 現況届の書き方 [記入例]

令和6年度 児童手当・特例給付現況届

(届出先) 横浜市長 令和 6 年 6 月 1 日
 令和6年6月1日の状況について、下記【誓約・同意事項】に誓約・同意の上、次のとおり届け出ます。

フリガナ	ヨコハマ タロウ		性別	男	生年月日	昭和 ○年 ○月 ○日 平成
氏名	横浜 太郎		※未成年後見人が法人の場合、法人名及び代表者氏名			
住所	横浜市	〇〇区	〇〇町	1-1	電話	自宅 045-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯 080-△△△△-△△△△
令和6年1月1日の住所	横浜市内・ 横浜市内 (神奈川県△△市)・国外 ※横浜市内の場合は、市町村名までご記入ください。(例: 〇〇区△△市)					
職業	<input checked="" type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 自営業	<input type="checkbox"/> 公務員	勤務先等	〇〇株式会社	被用者区分 <input checked="" type="checkbox"/> 被用者 <input type="checkbox"/> 非被用者
加入年金等の種類	(1) 厚生年金保険 (2) 国民年金(3号被保険者含む) (3) その他() ※次の共済組合の組合員の場合は、()に〇を記入してください。 () 私立学校教職員共済 () 地方公務員共済 () 国家公務員共済 () その他共済					
※下記の配偶者にかかわる項目は、必ず配偶者本人が【誓約・同意事項】(1)に同意した上で記入してください。						
フリガナ	ヨコハマ ハナコ		生年月日	昭和 ○年 ○月 ○日 平成		
氏名	横浜 花子					
住所	受給者と(別居の場合の住所)	<input checked="" type="checkbox"/> 同居		<input type="checkbox"/> 別居 → []		
令和6年1月1日の住所	横浜市内・ 横浜市内 (神奈川県△△市)・国外 ※横浜市内の場合は、市町村名までご記入ください。(例: 〇〇区△△市)					
職業	<input checked="" type="checkbox"/> 会社員		<input type="checkbox"/> 自営業			
勤務先等	〇〇株式会社		電話番号 045-〇〇〇-〇〇〇〇			
配偶者	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
配偶者を扶養	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
児童欄	受給者が養育(監護)している 平成18年4月2日以降に生まれた児童	続柄	生年月日	居住	生計	
横浜 一郎	子	平成 ○年 ○月 ○日	同居	同一		
横浜 二郎	子	平成 ○年 ○月 ○日	同居	同一		

※現況届で新たに支給対象児童を追加することはできません。
 出生等により、支給対象となる児童が増えた場合は、額改定請求書の提出が必要です。

○児童欄の書き方(児童欄がすでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。)

児童の氏名等	<ul style="list-style-type: none"> 受給者が養育する18歳までの児童(*)全員について、氏名・続柄・生年月日を記入してください。 *「18歳に達して以降最初の3月31日までの間にある者」のことをいいます。学齢では高校修了までの児童のことです。記入漏れにご注意ください。
居住	<ul style="list-style-type: none"> 受給者と児童の居住状況について同居・別居のどちらかに〇を付けてください。 別居の場合は、別途、申立書の提出が必要となります。 児童が「留学」をしている場合は、別途、証明書等の提出が必要となります。

生計	<ul style="list-style-type: none"> 続柄が「子」(養子含む)の場合は「同一」に、続柄が「子」以外の場合は「維持」に〇を付けてください。 「維持」の場合、別途、申立書等の提出が必要となります。 *児童からみて父母以外の養育者が請求する場合は、「維持」となります。
----	--

○受給者欄の書き方

氏名 生年月日 住所 電話番号	<ul style="list-style-type: none"> 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号を記入してください。すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。 児童の養育者が2名以上いる場合(父母等)は、児童の生計を維持する程度が高い方が受給者となります。 ※原則、家計の主宰者として、所得が高い方が受給者となります。
令和6年1月1日の住所	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年1月1日の住所で、該当するものに〇をつけてください。 横浜市内の場合は、市町村名までご記入ください。 すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。 ※児童手当の審査に所得情報の確認が必要なため、ご記入いただいています。 令和6年1月1日に横浜市内に居住していた方の所得情報は、マイナンバー制度による情報連携により、確認します。 ※令和6年1月1日時点の住所の特定ができない等の場合には、所得証明書の提出をお願いすることがあります。
職業 勤務先等	<ul style="list-style-type: none"> 該当する職業に〇を付けてください。「その他」の方は()内に記入してください。 公務員の方は、所属庁からの支給となりますので、勤務先に請求が必要です。 勤務先の名称、代表電話番号を記入してください。 独立行政法人等に勤務の方で、公務員等の共済組合に加入している方は、法人が所属する省庁等ではなく、勤務先の名称を明記したうえ、保険証のコピーを貼付してください。
被用者区分	<ul style="list-style-type: none"> 加入年金等の種類が、(1)に該当する方は「被用者」、(2)、(3)に該当する方は「非被用者」に〇をつけてください。 すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。
配偶者	<ul style="list-style-type: none"> 「有・無」のどちらかに〇を付けてください。「無」の場合、配偶者欄の記入は不要です。
配偶者を扶養	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者の扶養状況について「有・無」のどちらかに〇を付けてください。
加入年金等の種類	<ul style="list-style-type: none"> (1)~(3)のうち、該当する項目に〇を付けてください。 共済組合に加入している方は、該当する共済の()に〇を記入し、裏面に受給者の保険証のコピーを貼付してください。 厚生年金加入者に扶養されている配偶者は(2)に該当します。 地方公務員共済、国家公務員共済に加入している方は、所属庁からの支給対象でないか、勤務先に確認してください。

○配偶者欄の書き方

氏名 生年月日 住所	<ul style="list-style-type: none"> 氏名・生年月日を記入してください。別居の場合には、住所も記入してください。
職業 勤務先等	<ul style="list-style-type: none"> 職業について該当する項目に〇を付けてください。 「その他」の方は()内に記入してください。 公務員の方は、所属庁からの支給対象でないか、勤務先に確認してください。 勤務先の名称、代表電話番号を記入してください。
令和6年1月1日の住所	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年1月1日の住所で、該当するものに〇をつけてください。 横浜市内の場合は、市町村名までご記入ください。 ※令和6年1月1日時点の住所の特定ができない等の場合には、所得証明書の提出をお願いすることがあります。